

# 地域社会の人々・自然・文化と直接触れ心を揺り動かす体験的活動の組織化

江部乙中学校長 高瀬裕二

## I. 本年度の取組み

### 北海道教育ビジョン <2つの基本理念>

- ① 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む
- ② 心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りをもつ人を育む

「みんなで創ろう **流汗悟道**の学校を」

- ・視点1 「青雲の志を教育の中に投げだそう」
- ・視点2 「確かな学びと社会性を追究しよう」
- ・視点3 「江部乙の風と香りが生徒に意欲を呼び起こす」

### 学校経営19年度の重点として3視点を設定

「**流汗悟道**」は、本校の歴史と伝統のある教育信条・学校経営訓である。学校経営に当たっては、本校の歴史と伝統を尊重しながら、継承し発展させるもの、改善し、また創造するものなどを見極め、充実していくことが大切である。さらに屯田兵村として「青雲の志」を大事に育んできた伝統がある。

## II, 19年度の経営のビジョン

視点3の「江部乙の風と香りが生徒に意欲を呼び起こす」を特色ある本校の教育活動と位置づけて、先輩の生き方に学び、故郷を見つめる授業の構築を指示し、この全教育活動での取り組みを「**北辰学校**」と名付けた。

### ▲19年度 具体的な実践計画

- 1: 郷土江部乙の歴史を探る
  - ・全校演劇「北辰の輝き」への取組み。(北辰～江部乙の別名、北極星を意味する)
  - 学校祭にて発表後、地域への発信を行う。
  - ・福住一郎氏のヒューマニズム精神と足跡を探る
- 2: 郷土江部乙の文化を探る
  - ・岩橋英遠、一木万寿三 「ギャラリートーク」・「リンゴ室ワークショップ」の実施、8月25、26日
  - ・岩橋英遠、「桜の園」計画、「桜種子の採種授業」への取組み、6月29日 1学年
- 3: 地域の人材活用の充実
  - 1年、総合「江部乙を調べる」講師として古老、郷土史研究者との連携
  - 3年～キャリア教育・全4日間の職場体験実施 10月11日～13日
- 4: 本物の文化芸術体験事業の実施
  - 7月20日、本物の芸術家派遣事業(文化庁主催)、札幌首席オーボエ奏者岩崎弘昌氏公演 滝川市出身
  - 9月12日、芸術鑑賞教室・滝西高校との連携 劇団東京芸術座 文化センター
  - 10月 5日、本物の文化芸術体験事業・学校公演(文化庁主催)クラシックバレエ公演 日本バレエ協会
- 5: 国際交流授業の実施(JICA)
  - 7月23日、ブータン王国より6名の農業関係者学校訪問、交流授業の実施
  - 10月18日、マラウイ共和国研修生6名の農業関係者学校訪問、交流授業の実施
  - 12月10日、カンボジア国より10名の教育関係者学校視察、交流授業
- 6: ボランティア活動の普及
  - 平成19年度学童・生徒のボランティア活動普及協力指定校 「まごころコンサート」「クリーン作戦」

## III, 校長としての具体的な取り組み

1. ふるさと教育のビジョンを年度の方針の中で具体的、明確に示した。
2. 日課表を見直し、10分間の毎朝読書を導入し、全ての学習の土台となる国語力の充実に努めた。
3. 授業を公開しその様子をHPにて発信した。  
<http://edu.city.takikawa.hokkaido.jp/~ebeotsu-jh/> また、HPは過去4年間の「教育活動の様子」が瞬時に取り出せるように目次、索引化した。
4. 地域参観日として、地域の方々、学校評議員、道議・市議、保護者、教育関係者へ授業公開を行った。
5. 学校リーフレットにて今年度の取り組みの視点を地域や保護者に配布し意図を明確に伝えた。
6. 「北辰の杜」構想 北辰を意図した前庭森の環境整備・地域への開放をした。
7. JICA並びにPTAとの連携によりテニスプレーヤー伊達公子氏の講演会・実技講習会の開催 10月18日
8. 地域有志の企画 江部乙の香り：合格祈願餅つき会の実施 12月20日

## IV, 成果と今後の課題

まだ年度の途中であるが、計画段階から地域の方々や社会教育関係者の助言や指導をいただき構想化でき、本校に新しい風が吹いた。課題は組織として意図的、計画的に行うことの必要性である。今年の展開の概要、活用した資料など授業実践の記録化を図り、「**北辰学校**」の新たな発展を目指す。